

## 第160回理事会議事録

1. 日時 : 2009年12月18日(金)午後6時30分～9時15分
2. 場所 : 四谷連盟会館(新宿区四谷1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル2F)
3. 出席者:【出席 17名】藤田公郎、野崎武、木村修躬、宮国健次、  
神代高弘、ロバート・ゲラー、島村京子、久富浩、平田眞、  
堺順市、清水康裕、白鳥正喜、田多井菊雄、寺本直志、  
古田一雄、逸見徹、森村俊介  
【委任状提出1名】増田道子  
【監事 2名】 兼岩芳樹、鳩山勝郎  
【事務局3名】 吉田正事務局長、大政哲人競技会事業部長、  
高橋陽子普及事業部長  
(理事現在数:18名、定足数12名、本人出席17名、委任状提出1名)

### 4. 議事の経過及び結果

藤田公郎会長を議長に、森村俊介、古田一雄両理事を議事録署名人に選任し、議題を逐一審議した。

第1号議案 第159回理事会議事録案の承認について  
議事録案を原案通り承認した。

### 第2号議案 2010年度予算案について

事務局より2010年度の予算案についての説明が行われた。

収入についてはシニアへの移行が進むため、会費収入は減少の見込み。競技会収入のうち、主催競技会の参加者数が伸び悩んでいるためリジョナルの主催収入を減少と見込んでいるが、セクショナル公認料収入が増加する見込み。NECブリッジフェスティバルは2011年2月は11日が金曜になるため、金曜の横浜IMPペアに替わって、横浜スイスチームが2日間の試合となる。収入総額では微増の見込みとの説明があった。

支出について各事業部から説明があった。

普及事業部の広告宣伝費が大幅に増額になっている点について、PABF福岡大会も視野に入れ、雑誌広告を含み本格的な広報活動に取り組んで行く予定との報告があった。引き続き事務局長より今年度予定している雑誌広告は理事の在職する広告代理店経由で執り行う予定であるが、これは理事が自己または第三者のために一般社団法人と取引しようする場合、利益相反取引に該当

する可能性があり、その場合は会員総会の議決を得なければならないとの報告があったため、利益相反取引および今回の雑誌広告など一般に対する広告宣伝活動案について企画委員会に差し戻して再審議することになった。また、ウェブサイト維持更新の予算案について、安い業者を使うべきとの意見があり、同じく企画委員会に差し戻して再審議することになった。

競技会事業部では今年度予算では日本製のスコア入力端末導入の予算を計上したが、審議会での導入を見送り、現在国外で使用実績のある **Bridgemate** の新機種 **Bridgemate II** という機種の導入のために交渉中で、来年度予算に改造費用、購入費用などを計上していること、また、**JTOS** の改造費用を問い合わせ中で、今後この費用が発生する可能性があるとの説明があった。**Bridgemate II** の導入について計画書の提出を求める意見があり、次回理事会に提出することになった。また、租税公課が今年度予算から大幅に増額となっているが、これは昨年度の実績から消費税の増額を見込んでいたためとの報告があった。

国際交流事業部では世界選手権日本代表の派遣費用が発生しないとの報告があった。**PABF** コングレス福岡大会実行委員会から 2012 年までの予算案が提出され、費用については国際大会準備金から支出するとの説明があった。**PABF** コングレス実行委員会委員および関係者に手当・日当を支払う提案書が提出され、日当などを含めた予算案が提出されているが、理事への報酬については定款に無報酬と記述があり、また前述の利益相反取引に該当する可能性があるため、今回は提案書を取り下げ、改めて予算案を提出することになった。また、1998 年開催の **PABF** 神戸大会と比較して費用が増大している点について、大会規模が大きくなっている点、組織的に活動している点、1 年前のプレ大会を計画している点などの説明があった。**NEC** ブリッジフェスティバルの継続については企画委員会において検討を行うことになった。

九州プロジェクトのうち、福岡ブリッジプラザは競技会参加者が増加しているため収入の増加を見込んでおり、順調に赤字額が減少して来年度には収支のバランスが取れる見込み。九州支部は今年度に引き続いて協賛金の提供を見込んでいるが常勤職員を雇用したため費用が増加するとの報告があった。九州支部とブリッジプラザの歩調が一致していない点があるため、予算の見直しの可能性があることが報告された。

現状の予算案では内部留保の減少が進んでいないため、企画委員会においてその方策について検討することに決定した。

### 第 3 号議案 「常設コントラクトブリッジ会場運営のためのサービス・ガイドライン」制定および「公認クラブ規則」改正について

田多井センターサービス向上委員会委員長よりサービス・ガイドラインについての説明があった。本ガイドラインには、ゲーム環境全般についてプレイヤーに利便性と快適性を提供することを目的に作成したものであるが、各 BC に強制的に指示するべきではないなどの意見があり、理事会で指摘された点を修正後、暫定版としてブリッジセンターに送付し、各センターと協議の上ガイドラインを発行することに決定した。

公認クラブ規則改正案についてはこれを承認した。

#### 第 4 号議案 各委員会及び事業部報告

##### 1. 2012 PABF コンgress福岡大会実行委員会

2012 年の本大会に向けて、認知度を高め、九州地区プレイヤーの意欲を盛り上げるため、2011 年山笠リジョナルを 1 年前の事前イベントとして本大会と同じシーホークホテルで開催予定との報告があった。

##### 2. 企画委員会

平田委員長より、12 月 11 日開催の委員会議事録に関する報告があった。

##### 3. 定款検討委員会

逸見委員長より 12 月 17 日開催の委員会を含め、過去 3 回の委員会での検討内容についての報告があった。

##### 4. 人事委員会

神代委員長より 12 月 16 日開催の委員会議事録に関する報告があった。クラブ育成を連盟の事業として検討するべきとの意見につき、企画委員会において検討することになった。

##### 5. 代表選抜委員会

堺委員長より 11 月 14, 15 日、12 月 12, 13 日に開催された第 47 回 PABF 選手権日本代表選抜試合についての報告があり、オープン、ウィメンズチームの日本代表メンバーを了承した。また宮国健次氏をウィメンズチーム NPC に指名することに決定した。

今後問題が起こったプレイヤーに対して助成金の支給を取り消すべきとの提案があり、代表選抜委員会において代表選抜規定の見直しを行うことに決定した。

##### 6. 競技委員会

清水委員長より、12 月 9 日開催の委員会議事録に関する報告があった。IMP リーグ試合要項改正について 6 チーム 5 ラウンドの総当りを原則とし、他のチーム数の場合も総当りとするとの報告があった。

##### 7. 普及事業部

逸見普及担当理事より新人ゲームを通しての新入会員勧誘および関西で

のブリッジセンター設立に関する報告があった。

8. 競技会事業部

大政事業部長より事業部活動状況及び、ゴールドライフマスター1名、シルバーライフマスター8名、シニアライフマスター28名、ライフマスター41名の資格取得者の報告があった。

IMP リーグ参加者数減少について原因の追及と対応策の検討を競技会事業部に求める意見が出たが、対応策については主催センターに検討を求め、連盟の支援が必要な場合は、その時点で検討することになった。

9. 国際交流事業部

吉田事業部長から NEC ブリッジフェスティバル国外招待チームおよび PABF マスターポイント規定と現時点でのランキングについての報告があった。

第5号議案 その他の議案

次回開催日について

今回は1月22日(金)午後6時30分より開催する。

次々回は3月26日(金)に開催する。

当日配布書類：第2号議案「2010年度予算案」、「PABF コングレス福岡大会予算案」

第4号議案「企画委員会議事録」、「人事委員会議事録」、

「第47回 PABF 選手権日本代表の指名について」、

「第203回競技委員会議事録」、「新ライフマスター名簿」

平成21年12月18日(2009年)

社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第160回理事会

議長

議事録署名人

議事録署名人